

資料No. 5

江田島市公共交通協議会
令和3年12月27日

令和3年度江田島市地域公共交通計画の作成状況に関する事業評価について

「江田島市地域公共交通計画」の策定に関して、国補助金（地域公共交通確保維持改善事業）を活用しています。江田島市地域公共交通計画の作成状況に関する事業評価について、協議会の構成員の意思を反映する必要があるため、次のとおり協議します。

1 評価対象事業

江田島市地域公共交通計画策定事業（地域公共交通調査事業）

2 事業実施期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 事業評価の記載事項

- ・事業の結果概要
- ・事業実施の適切性
- ・計画策定に向けた方針

4 事業評価様式

別紙(案)のとおり

5 その他

委員から提出された意見を反映させた上で、中国運輸局長に提出します。

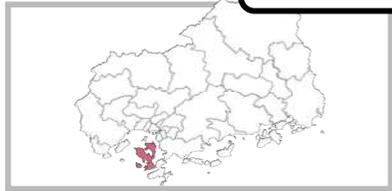
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和3年12月27日

協議会名:江田島市公共交通協議会

評価対象事業名:江田島市地域公共交通計画策定事業(地域公共交通調査事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状整理(交通の現況や既存計画の振り返り) ・ニーズ・課題の整理(ヒアリング・アンケート結果の整理) ・地域に適した交通の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査などにより,地域の公共交通の状況を整理した。 ・交通事業者や市民へのヒアリング結果により,交通事業者の経営状況や航路とバスの接続改善など市民の移動ニーズを把握することができた。 ・持続可能な公共交通サービスを実現するため,次期計画期間中の事業案を検討し,協議会に諮るための計画(たたき台)を作成。 ・今後の協議会の検討を経て,江田島市地域公共交通計画をとりまとめる。 	A	計画通り事業は適切に実施されている。	<p>【便利で持続可能な地域公共交通網の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動ニーズを踏まえたバス路線網の見直しやタクシーやレンタカーなどの輸送資源の活用した事業を推進する。 <p>【わかりやすく魅力的なサービス提供と利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい情報提供と利用促進を行いながら,新たな需要の掘り起こしを行う。 <p>【地域公共交通を守り,育てる意識の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ・マネジメントを行いながら,市民とともに守り育てる地域公共交通を目指す。



令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 江田島市公共交通協議会（江田島市地域公共交通計画策定事業）の概要

江田島市の概要

- 平成16年11月に4町が合併
- 人口 21,930人（令和2年国勢調査）
- 面積 100.72平方キロメートル

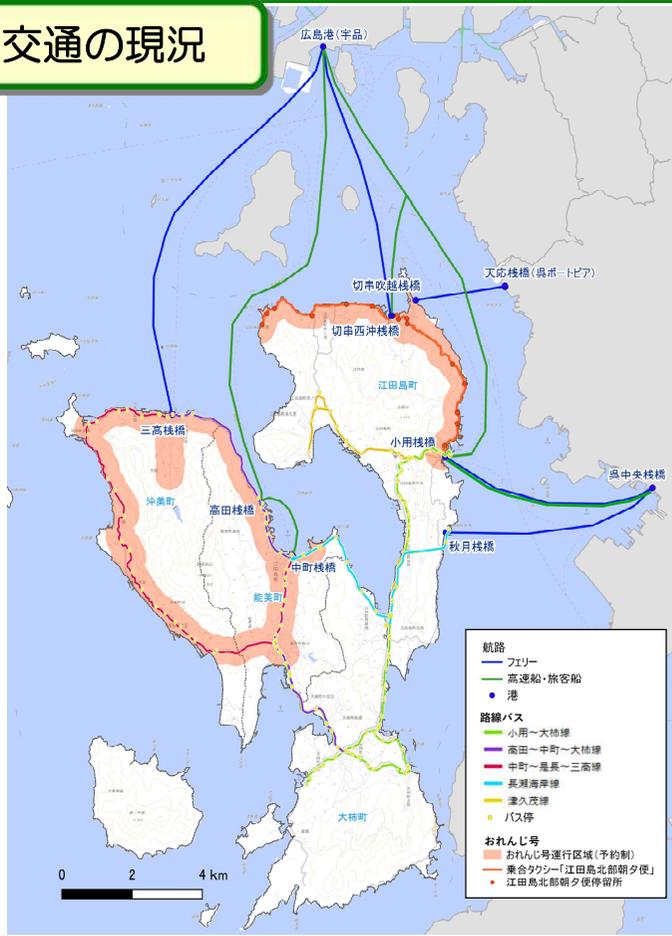
協議会の構成員

広島県、江田島市、学識経験者、広島県旅客船協会、江田島バス(株)、広島県タクシー協会江能支部、利用者又は住民代表者、中国運輸局、広島運輸支局、江田島警察署

地域公共交通の現状

- ・路線バス：江田島バス(株) ・航路：7航路（民間4社と市）
- ・おれんじ号（予約型乗合タクシー）：3系統
- ・江田島北部朝夕便（乗合タクシー）：1系統
- ・タクシー会社：民間7社
- ・高齢化率43.6%（令和2年国勢調査）

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ・人口減少やコロナ禍に伴う利用者の減少。
- ・生活交通維持確保に係る行政負担の増加。
- ・収入減による交通事業者の経営悪化。
- ・市民と危機意識の共有が十分に図れていない。
- ・移動ニーズを踏まえた公共交通網となっていない。
- ・分かりやすい案内ができておらず、観光客も十分に取り込めていない。



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・現況調査（人口・高齢化・地形・交通利用者・輸送モード・既存計画の振り返り）
- ・ヒアリング調査（交通事業者・医療機関・商業施設・市民）
- ・バス利用者アンケート
- ・上記を踏まえた上でニーズ・課題の整理
- ・具体的な計画方針の検討

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（5月14日）
策定スケジュールの進め方の確認
- ・第3回（10月20日）
現状調査の結果について
- ・第4回（12月27日）
途中経過の報告及び事業評価について

地域住民の意見の反映

- ・2地区（小用・深江）の45名の市民を対象に、交通に対するヒアリング調査を行った。
- ・11月に路線バスの利用者（57名）に対し、交通に対するアンケート調査を行った。

事業実施の適切性

- ・地域公共交通調査事業が計画どおり適切に実施されている。

調査事業の結果の概要

- ・現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。
- ・交通事業者や市民等へのヒアリングにより、交通事業者の経営状況や航路とバスの接続改善など市民の移動ニーズを把握することができた。
- ・持続可能な公共交通サービスを実現するため、次期計画期間中の事業案を検討し、協議会に諮るための計画（たたき台）を作成。
- ・今後の協議会の検討を経て、江田島市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。



地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

- 【①便利で持続可能な地域公共交通網の形成】
 - ・移動ニーズを踏まえたバス路線網の見直しやタクシーやレンタカーなどの輸送資源の活用した事業を推進する。
- 【②わかりやすく魅力的なサービス提供と利用促進】
 - ・わかりやすい情報提供と利用促進を行いながら、新たな需要の掘り起こしを行う。
- 【③地域公共交通を守り、育てる意識の醸成】
 - ・モビリティ・マネジメントを行いながら、市民とともに守り育てる地域公共交通を目指す。